

本書の特徴

- 日本地図センターが米国ワシントンD.C.郊外のナショナル・アーカイブズ（米国立公文書館）で調査収集した米軍偵察隊撮影高精度モノクロ空中写真、国土地理院所蔵の占領期米軍撮影高精度モノクロ空中写真、戦後国土地理院が国土基本図作成用に撮影した高精度空中写真を多数収録。
- 米軍空中写真は1944（昭和19）年から1949（昭和24）年にかけて撮影され、とりわけ戦中期・空襲前後の高精度空中写真は日本側の写真がほとんど残っておらず非常に貴重である。国土地理院が1960（昭和35）年前後に撮影した空中写真は、高精細に高度成長期の国土を記録している。
- 各都市、上記2点の空中写真を軸に、昭和20年頃から昭和末期頃までを、旧新版地形図と組み合わせて編集。敗戦から復興期の戦後日本の主要都市を大縮尺空中写真と地形図で見ることのできる都市変遷図集成を編む。
- 縮尺は、原則として1万分1で統一。一部5千分1の大縮尺で収録し、利用者の便を図る。

収録都市（地域）一覧

（縮尺は1万分1で統一、但し*印は縮尺5千分1）

東日本編

札幌／仙台／さいたま（浦和）／千葉／上野*／秋葉原*／銀座・丸の内*／新宿／渋谷*／武蔵野／立川／八王子／横浜／新潟／富山／静岡／浜松

西日本編

名古屋／京都／大阪（梅田）／大阪（京橋）／大阪（難波）／神戸／奈良／和歌山／広島／呉／下関／徳島／松山／北九州（小倉）／福岡／長崎／熊本／宮崎

編者紹介

日本地図センター

一般財団法人日本地図センターは、国土地理院が刊行する地図、空中写真などの複製、頒布をおこな業務としています。また地図に関する情報サービスを総合的に実施するため、地図や地理空間情報の収集、提供、調査研究、普及活動などを行っています。

空中写真に遺された昭和の日本

東日本編

西日本編

【全2巻】

戦災から復興へ

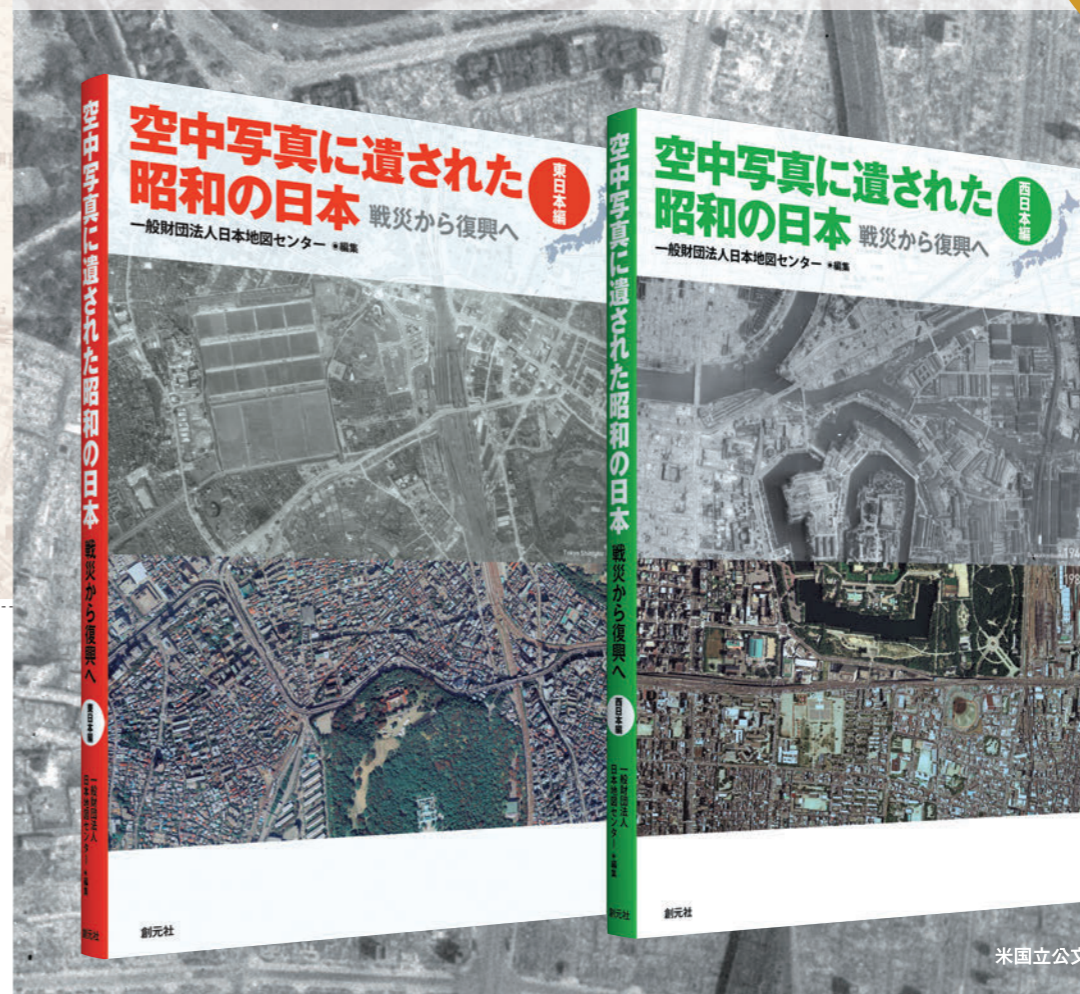
一般財団法人日本地図センター ●編集

焼野原からの国土復興。
空中写真に焼き付けられた、
激変する都市の景観。

教育に、調査に、研究に。〈写真＋地形図〉で
編んだ昭和都市史ヴィジュアル基本資料。

おすすめします

公共図書館、中高等学校図書館、大学図書館・研究室（地理・観光・歴史・建築・都市計画・防災等）、自治体各部署、土木・都市計画関連企業ほか。



米国立公文書館所蔵米軍撮影空中写真（1945年4月2日撮影）



創元社

<http://www.sogensha.co.jp/>

〔本 社〕大阪市中央区淡路町4-3-6 TEL(06)6231-9010(代) FAX(06)6233-3111
〔東京支店〕東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル TEL(03)6811-0662(代)

（キリトリ線）

創元社申込書 この注文書にて最寄りの書店へお申し込みください。書店ご不便の場合は直送もいたします。			
空中写真に遺された昭和の日本 【東日本編】		定価（本体8,000円＋税） ISBN978-4-422-22007-9 C2025	冊 申し込みます
空中写真に遺された昭和の日本 【西日本編】		定価（本体8,000円＋税） ISBN978-4-422-22008-6 C2025	冊 申し込みます
ご住所	〒 _____		
お名前	フリガナ _____	TEL () _____	_____



創元社

A4判上製・168頁・
オールカラー印刷

各巻定価（本体8,000円＋税）

〈西日本編〉2018年8月刊行予定
〈東日本編〉2017年刊 【分売可】

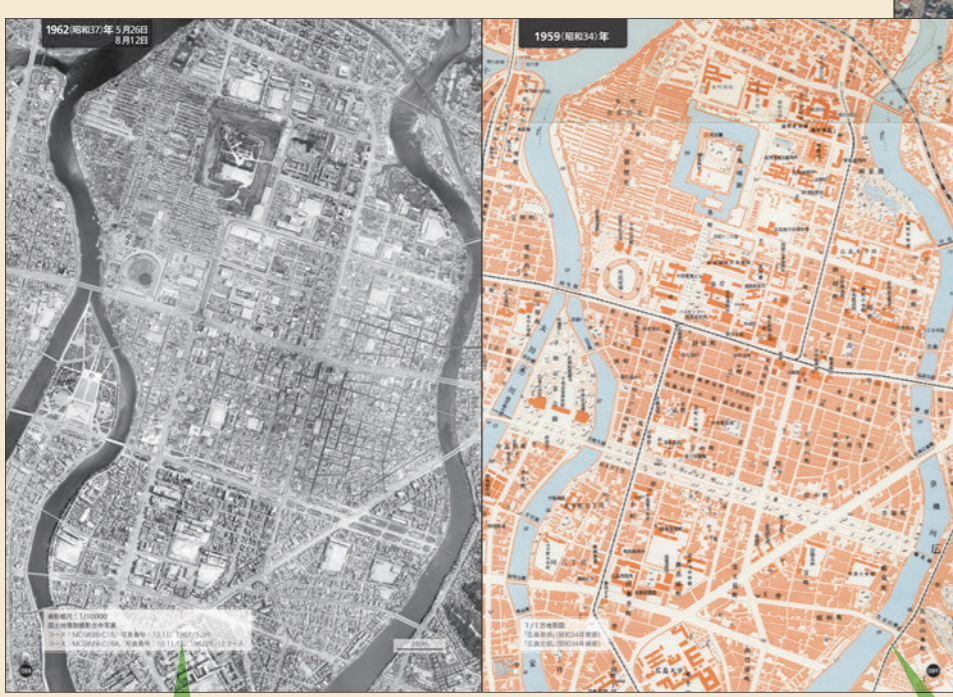
焼夷弾による絨毯爆撃、2発の原爆投下、米軍撮影を含む貴重な高精細空中写真と地形図で見る、昭和初期から平成へと至る都市の相貌！



〈地形段彩図〉
 地理院地図（ウェブ地図最新版）＋基盤地図情報（5mメッシュ標高【一部、10mメッシュ標高】を使用）で作成。

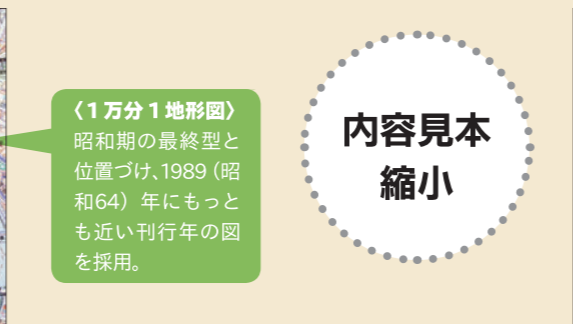
「広島」で見る、本書使用の基本資料種別

[全12頁の内、7頁使用]



〈空中写真・国土地理院モノクロ〉
 1961年に撮影が開始され、大縮尺国土基本図の整備に用いられたモノクロ版から、1万分1高精細版を昭和30年代資料として採用。

〈旧1万分1地形図〉
 1960年刊行までのものを、戦後復興期の様相を表すものとして適宜採用。



〈空中写真・国土地理院カラー〉
 1974年撮影開始のカラー版のうち、初期の8千分1高精細版を昭和50年代初期資料として積極的に採用。昭和50年代後期の1万分1版も採用。

〈1万分1地形図〉
 昭和期の最終型と位置づけ、1989（昭和64）年にもっとも近い刊行年の図を採用。



原爆投下2日後
〈空中写真・米国立公文書館所蔵米軍撮影〉
 1944（昭和19）年11月から翌1945年にかけて、米軍が対日作戦用に撮影したもので、大規模空襲前後の様相が克明に分かる資料も多く含まれている。本書では主に2万分1以上の大縮尺写真を採用。

〈空中写真・国土地理院所蔵米軍撮影〉
 1947（昭和22）年から1956（昭和31）年まで、米軍が撮影したもので、4万分1が主で、一部1万分1がある。戦後期の資料として採用。

〈2万5千分1地形図〉
 全国的に整備されていない1万分1地形図を補完するものとして一部採用。



「札幌」で見る、その他の基本資料種別

〈旧2万5千分1地形図〉
 1938（昭和13）年に作成中止、昭和18年に修正が中止されたもので、旧1万分1地形図を補完するものとして一部採用。